



みなさん、こんにちは。

今日は、業務紹介第16弾として、港湾分野のうち土木系の業務内容を、関東地方整備局 港湾空港部 港湾計画課の河田課長補佐（入省7年目）より語ってもらいました！



関東地方整備局 港湾空港部 港湾計画課 河田課長補佐

1. 港湾分野のうち土木系業務の国交省における役割を教えてください。

島国である我が国は、世界との貿易を通じて経済発展してきました。港湾は海と陸の結節点として物流や人流を支える重要な社会基盤です。様々な機能が集約された港湾の効果を十分に発揮するため、国交省では港湾の開発、利用及び保全等に係る政策の立案・実施を行い、我が国を取り巻く情勢や国民のニーズに対応する役割を担っています。

2. 現在の目玉施策を教えてください。

港湾分野では、国際コンテナ戦略港湾政策として、大水深コンテナターミナルやアクセス道路の整備、デジタル技術を活用した生産性向上に取り組んでいます。また、我が国の国際港湾において、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルポート（CNP）の形成に取り組んでいます。

3. ご自身が担当されている業務内容について教えてください。

関東管内の港湾に関して、将来の港湾の在り方を定める「港湾計画」に携わる計画業務と政策の立案をするための貨物量など基礎データを整理する調査業務等を担当しています。日頃から、我が国を取り巻く動向や現場の進捗状況などについて、関係者と情報交換しながら業務に取り組んでいます。

4. 苦労する点や、やりがいについて教えてください。

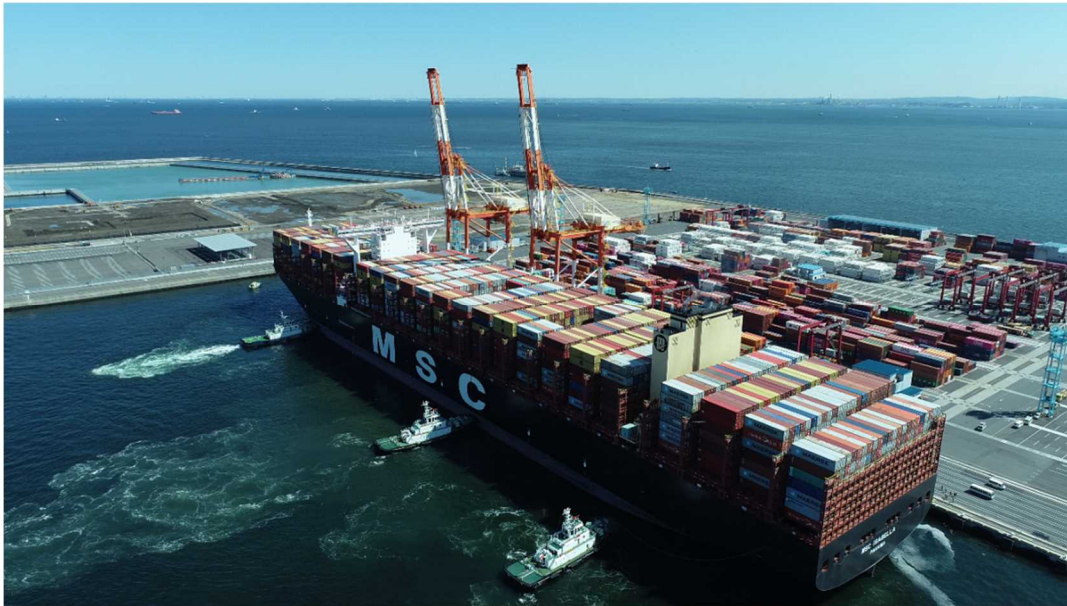
港湾の将来像を描く際は、国家戦略としての方向性を踏まえ、地元ユーザーをはじめとしたステークホルダーの声を反映していく必要があります。様々な立場の関係者との調整では対立する意見が出る場合もあり、課題解決に向けては手探りの連続です。簡単にはいきませんが、



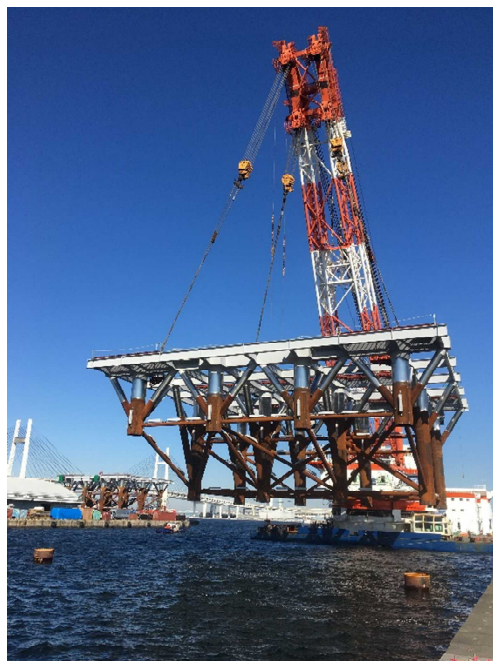
みんなの夢や希望が将来計画としてまとめ、国土の形成に携われることは、苦勞以上に大きなやりがいを感じます。

5. 国土交通省を目指す方へのメッセージをお願いします。

我が国には、港湾をはじめ社会基盤を支えることで国民生活を豊かにするニーズがあり、国土交通省だからこそ携われる業務が多数あります。また、職員一人一人が現場の重要性を認識しており、我が国を支えているという責任感をもって日夜業務に取り組んでいます。将来、皆さんと一緒に働くことで、やりがいや達成感を味わえることを楽しみにしています。



世界最大級のコンテナ船入港（横浜港）



ジャケット式栈橋の設置